

教育研究論文・著書募集要項

1 趣旨

「学校の実態を踏まえ明日の教育を考える」という立場から、教育に関する実践研究論文(著書を含む)を募集し、有益な研究を行った者(学校・園)に助成金を贈り表彰するとともに、広くその成果を頒布し、もって本県教育の振興に寄与する。

2 主催及び後援

主 催 公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部

後 援 岡山県教育委員会, 岡山市教育委員会

3 応募資格等

県内の幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校, 中等教育学校及び教育行政機関に勤務する教育関係者。

(1) 論文部門(学校部門)

① 学校単位で行う研究・実践等を所定の様式にまとめた論文で、研究期間については特に限定しません。

② 学校部門は、校長(教育行政機関の場合は所属長)が応募者となります。

(2) 論文部門(個人部門)

① 平素取り組んでいる研究・実践等を所定の様式にまとめた論文で、研究期間については特に限定しません。

② 共同研究については、少人数(研究グループ)のものとし、部会等の研究は除きます。

(3) 著書部門(退職者を含む)

締め切り期日前の1年間に自費または出版社を通じて発刊された著書で、学校教育の振興に役立つもの。共同執筆の著書については、申請者が著作権等を有する場合は応募の対象とします。

(4) その他

① 前年度の受賞校・受賞者は、今年度、同一部門(前年度受賞した部門)には応募できません。

② 応募は1人1編とします。但し、論文と著書との併願は可とします。

4 助成対象にならないもの

(1) 論文部門

① 公的機関, 研究会, 研究紀要, 市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの。

② 他団体に応募(推薦含む)ずみの内容のもの。

③ 本事業に応募後、審査結果通知までに、他団体に発表・応募(推薦含む)する予定のもの。(但し、当会本部主催の「日教弘教育賞」へ推薦された場合は、「日教弘教育賞」の審査結果通知まで、他団体に発表・応募できません。)

〈上記①～③共通の注意点〉

※他団体への発表・応募書類が、論文の様式でないもの(申請書・報告書・レポート等)であっても、内容が類似している場合は、対象となりません。

但し、次の2つの条件をともに満たすものは対象とします。

・新たな内容に軸を置いているもの。(内容に差異がないもの、前段である研究・活動に紙幅を割いて新たな内容を数行追加しただけのもの等は対象外とします。)

・他団体への発表・応募書類を提出できるもの。(審査委員会で使用します。)

(2) 著書部門

① 学校の研究紀要や多数の研究論文を集録したもの。

② 他団体に応募(推薦含む)ずみのもの。

5 助成金額等

(1) 論文部門(学校部門)

◇ 最優秀	30万円	1編以内
◇ 優秀	20万円	3編以内
◇ 優良	10万円	5編以内
◇ 奨励	5万円	予算内で決定

(2) 論文部門(個人部門)・著書部門

◇ 最優秀	15万円	1編以内
◇ 優秀	10万円	3編以内
◇ 優良	5万円	5編以内
◇ 奨励	3万円	予算内で決定

6 募集期間

毎年4月1日から8月31日

応募締切日が土日祝日にあたる場合は、その直前の平日を締切日(必着)とします。

7 応募方法等

(1) 論文部門

① 「教育研究論文申請書」

論文の応募者は、学校部門は「教育研究論文申請書(学校部門)」(様式1)に、個人部門は「教育研究論文申請書(個人部門)」(様式2)に必要な事項を記載して申請してください。

② 研究主題

論文の主題は、「学校の実態を踏まえ明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

③ 用紙及び論文量

論文の作成は原則としてワード等を使用し、文字は常用漢字、現代かなづかいを使用してください。指定の原稿用紙はありませんので、次のとおり設定の上、提出してください。(ア・イともに必須。)

なお、電子データ(CD-ROM等)を併せて提出してください。(ア・イはそれぞれ別のファイルで作成してください。)

ア 要旨

(ア) 様式

- ・ 48字×43行×1段組×A4判1ページ横書き(フォントサイズ10.5)

(イ) 記載項目

- ・ 応募者(学校部門は校長)の所属学校、役職、氏名
- ・ 研究主題
- ・ 研究副題
- ・ 研究の要旨(論文の内容をまとめたもの)

イ 論文

(ア) 様式

- ・ 24字×43行×2段組×A4判4ページ横書き(フォントサイズ10.5)

(イ) 応募者記載欄

- ・ 1ページ目1~6行目(段組み左右・2段分)に記入する。
- ・ 記載事項は研究主題、副題、応募者の所属学校、役職、氏名とする。
- ・ 学校名は縣市町村(町立・村立の場合は郡も)を含め、正しく記載してください。
- ・ 学校部門の応募者は校長に限ります。
- ・ グループの応募者はグループの代表者に限り、所属学校をグループ名に換えて応募することも可能です。

(ウ) 本文

- ・ 2 段組で記入する。
- ・ 1 ページ目 7 行目 (左段) ~4 ページ目 43 行目 (右段) の中に本文及び図表・写真等の資料を収める。
小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。
- ・ 掲載する図表・写真等の資料は、「教育研究集録」作成時に見にくくならないように配慮するとともに、分量は、A 4 判 1 ページ程度以内の分量に収めてください。

※レイアウト等については、当支部ホームページ (<http://www.okakyoko.or.jp>) の例を参考にしてください。論文の作成にあたっては、別紙 1 「教育研究論文作成上の視点」を参考にしてください。

※児童生徒・保護者等の写真を論文に掲載する場合は、必ず事前に許可を取ってください。

※学校部門は校長が応募者となりますが、他に校長以外の担当者（執筆責任者・執筆担当者等）がいる場合は、論文の文末に記載することができます。（例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○）

※「教育研究論文申請書」及び要旨・論文に記載する氏名・所属学校・役職・研究主題等は、不一致がないようにしてください。

※論文以外の付属資料は審査の対象になりません。

(2) 著書部門

著書の応募者は、「教育研究著書申請書」（様式 3）に必要事項を記入し、著書 10 部を添えて申請してください。退職者は、申請書の所属欄に現住所を記入してください。

※応募著書の返却・買取はいたしません。

8 提出先

〒703-8258 岡山市中区西川原 255 番地

公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部 研究論文・著書係

TEL (086) 272-1909

FAX (086) 272-1781

9 審査

- (1) 学識経験者、教育関係者等で構成する審査委員会を設置し、別紙 2 「教育研究論文審査の観点」に基づき、部門別に審査します。審査結果は毎年 10 月下旬に通知します。
- (2) 応募論文の中から、優秀なものを選び、公益財団法人日本教育公務員弘済会本部が主催する「日教弘教育賞」へ推薦します。但し、「日教弘教育賞」で過去 5 年以内に受賞した学校園及び受賞者を除きます。

10 その他

- (1) 受賞者には、表彰式において賞状を贈呈します。助成金は、表彰式開催後（2 月中旬）、指定の銀行口座へ送金します。
- (2) 優良以上の論文（著書は要約）と受賞者全員の研究主題・所属・氏名を記載した「教育研究集録」を刊行し、学校・教育機関等に配布するとともに、公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部のホームページにも掲載します。
- (3) この要項に定めのない事項については、公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部長が別に定めるものとします。